

渥美 充代

News Letter

vol.52
JUL
2026

Eccomi!

Atsumi Mitsuyo

Da Milano



みなさま、お元気でいらっしゃいますか。

ヨーロッパは、記録的な熱波に見舞われる日々が続いています。

日本も梅雨明け後、猛暑が続いていると聞きました。また熊本で発生した地震のニュースに接し、心を痛めています。被災された方々に主の守りと慰めがあり、必要な助けが届けられますように祈ります。

いつもイタリア・ヨーロッパの日本人宣教のため覚えてお祈りくださり、サポートをしてくださり心より感謝いたします。

「私は言います。御霊によって歩みなさい。

そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません。」

ガラテヤ人への手紙5章16節

歩むとは、一步一步、毎日を積み重ねていくことです。

それは一日限りのことではなく、日々の生活の中で御霊に信頼し、その導きに従いながら、主にお会いする日、救いが完成するその時を目指して歩み続けることです。

そのように歩み続けるとき、果実が季節を経て実を結ぶように、私たちのうちにも御霊のご性質である「御霊の実」がかたち造られ、時間をかけて成長し、実っていきます。

この歩みの中で、神様はいつも真実に導いてくださり、多くの恵みを与えてくださいました。今回もその恵みの一端を、感謝をもってご報告いたします。



■ ミラノ賛美教会創立30周年記念礼拝 ■

去る6月7日、ミラノ賛美教会では創立30周年記念礼拝がささげられました。

当日は、創立に携わり長年牧会をしてこられたイム・ユンサン牧師夫妻はじめ、教会にゆかりのある多くの牧師先生たちも参列して下さり、会堂に主への賛美が満ちる中、この30年絶えず教会を導いてくださった神様の真実と愛に感動し、感謝があふれる時となりました。

礼拝で説教を担ってくださったイ・キュウ牧師先生からは、目を覚ませ!と言わんばかりの熱量で「みことばの通りに生きてください」と叱咤

激励のメッセージを受けました。私たちは「本当にその通りだ」と思うのに、それができない自分を知っています。イ・キュウ先生は、「この世と調子を合わせて生きるのか、みことばのように生きるのか、あなたたちはどう生きていくのか。」「みことばの通りに生きるために、世で神様のために戦いなさい」と繰り返されました。これは普段の礼拝でも主任牧師から続けて語られていたことであったので、私自身、また神様からこのように語られたことを重く受け止めなくてはいいけないと思いました。続いて主任牧師のキム・サンウォン先生が、私たちは「みことばを黙想する共同体」「イエスに同行する共同体」「ヨーロッパ宣教の共同体」とあり、これからの30年も主が共にいてくださり、主が語られるところならどこへでも従って進んでいく弟子の共同体であるようにとビジョンをシェアしてくださいました。改めてこの30年の歩みが人のわざではなく、神のわざによって導かれてきたことを皆が確信し、主に感謝をささげました。



■ 対外奉仕の報告 ■

5月と6月はドイツのフランクフルト日本語福音キリスト教会と、パリプロテスタント日本語キリスト教会で礼拝メッセージのご奉仕をさせていただきました。

牧師が不在の「無牧」の教会が増加している傾向にあるのは、今はヨーロッパのみならず日本の地方教会にも言えることですが、今回ご奉仕をさせていただき、これは本当に深刻な問題だと感じました。

牧師先生の退任の日までに新任の先生が決まらない場合は、毎週の礼拝のために教



会の役員や信徒リーダーがメッセンジャーを探し続けなくてはなりません。

イエス様は、羊飼いがいない羊の群れのように弱り果てて倒れていた群衆を見て「収穫は多いが働き手が少ない。だから収穫の主にご自分の収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい」(マタイ9:37,38)とおっしゃいました。

このみことばは私自身が献身に導かれたみことばでもあります。二つの教会でご奉仕させていただき、イエス様が深くあわれまれたことが思い起こされ、心が締め付けられるような思いがしました。今は、牧師の高齢化が進み、後継者も不足している状況です。また言葉も通じないヨーロッパという異国に行くことは大きなハードルとなるし、決断するのは誰にとっても覚悟のいることでしょう。しかし、主の働きのために備えておられる方、導きを求めて祈っておられる方はいらっしゃるのではないのでしょうか。主を求め、羊飼いを求めている方々のもとに、神と羊たちを愛し、仕える主の羊飼いが派遣されるように切に祈ります。

どうかみなさまも福音宣教の拡大と共にヨーロッパの地に主の働き人が送られるように、覚えてお祈りください。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 一対一弟子養育聖書の学びの広がり ■

以前この学びについて、私と3人の執事たちが先に受講し全過程が終了したことをご報告しました。この学びは、ミラノ賛美教会で韓国人と日本人が初めて同じテキストを用いて始めることになった学びで、先に学んだ者が今度は導き手となって学びをリードしていくものです。テキストは基礎の学びですが学び始めると新しい発見や豊かなみことばの恵みに満たされて、神様の素晴らしさに賛美があふれます。先日は今年2月に洗礼を受けたばかりの姉妹が15回の学びを終了し、聖書から神様の真理を吸収し成長していく姿にとっても励まされました。現在も執事たちがそれぞれ学びのリードを担い、教会のメンバーたちと一対一で向き合い進められています。一対一の学びは、お互いの祈りの課題を共有し、心を開いて祈り合う、主にあってとても親密な交わりとなります。これからも日本人共同体の中にこの学びによる祝福と喜びが広がっていき、主につながり続けることによって信仰が強められ、真の礼拝者として整えられていくようにお祈りください。



厳しい暑さが続いています。みなさまのお身体が守られ、日々の歩みの中に神様の祝福と恵みが豊かにありますように。

心からの感謝と愛を込めて 渥美充代

お祈りください

- ・日本人共同体が守られ、みことばと祈りによる主との交わりが祝福されるように
- ・学びの輪が広がっていき、聖徒たちが真の礼拝者として整えられていくように
- ・イエス・キリストを伝えるため、いつも備えている私たちであるように
- ・伝道師の健康が守られ、主が必要をすべて満たしてくださいように
- ・ヨーロッパの教会に主の働き人が送られ、主の栄光が現されるように

尊いさげものを感謝いたします

新口座：三菱UFJ銀行 仙川支店(149)
普通預金 0803314
渥美充代さんを支える会
代表者 齋藤祐仁

ミラノ賛美教会WEBサイトより、日本語礼拝メッセージをご視聴いただけます。

こちらをクリック →

